

ウズベキスタンの世界遺産とフェルガナ盆地を訪ねて

2022年10月1日(土)～10月9日(日)



ブハラ・世界遺産

NPO 法人 国際芸術家センター(IAC) 主催 文化視察団派遣シリーズ

全行程: 9日間 成田発着 アシアナ航空又は大韓航空利用予定

参加料金: 388,000 円 (催行人数 10 名様) 一人部屋利用追加料金 40,000 円

日次	旅程概要・宿泊地・食事
1日 10/01	午後、13:20 成田空港よりインチョン経由タシケントへ。 午後、20:35 タシケント着後、ガイドと合流し、ホテルへご案内。 【タシケント泊】朝食×/昼食機/夕食○
2日 10/02	朝、07:55 急行列車にてマルギランへ向けて出発。12:55 着後、リシタン市のセラミック工房と「NORIKO 学級」日本語学級を訪ね、生徒たちと交流。 【フェルガナ泊】朝食○/昼食○/夕食○
3日 10/03	朝、マルギラン市の「ヨドゥゴルリク・シルク工場」の見学とシルク製品など買い物を楽しめます、そして パサールを訪ねます。 午後、16:48 急行列車にてタシケントへ。21:40 着後、ホテルへご案内。 【タシケント泊】朝食○/昼食○/夕食○
4日 10/04	朝、08:30 特急列車にてブハラへ。12:20 着後、ブハラ市内観光:「ラビ・ハウス」,「タキ(丸屋根で覆われた市場)」など。【ブハラ泊】朝食○/昼食○/夕食○
5日 10/05	日中、ブハラ市内観光:「カラーン・モスク」,「カラーン・ミナレット」,「ミル・アラブ・モスク」,「イスマイル・サマニ廟」,「ボロ・ハウス・モスク」,「アルク城(内城)」など。【ブハラ泊】朝食○/昼食○/夕食○
6日 10/06	午前、スザニ刺繍の工房を見学。 午後、15:25 特急列車にてサマルカンドへ。 【サマルカンド泊】朝食○/昼食○/夕食○
7日 10/07	日中、サマルカンド市内観光:「ティムールが眠るグル・アミル廟」,「レギスタン広場」,「シアブ・パサール」,「ピビ・ハニム・モスク」,「シャーヒ・ジンダ廟」など。【サマルカンド泊】朝食○/昼食○/夕食○
8日 10/08	午前、08:25 急行列車にてタシケントへ向けて出発。12:25 着後、タシケント市内観光:「ナボイ劇場」,「百貨店」など。 夕方、21:00 帰国の途に。【機内泊】朝食○/昼食○/夕食○
9日 10/09	午後、成田空港着。お疲れさま 朝食機

ツアーのポイントは:

- 1)ウズベキスタン世界遺産都市,サマルカンド・ブハラとフェルガナ盆地も訪ねます
- 2) NORIKO 学級の生徒との交流会
- 3) 中央アジアの「新幹線」、アフラシアブ号車にも乗れます
- 4)スザニ刺繍、織物、陶器などの工房を見学します

現地手配料金に含まれるもの:

1. 国際線(エコノミークラス)航空運賃
2. 宿泊費: 日程表記載の各地におけるホテル(お二人部屋を2名様でご利用料金)
3. ガイド料金: 日程表記載の各地におけるスルーガイド料金。
4. 送迎費: 日程表記載の専用車、電車代及びドライバー料金
5. 食事料金: 日程表記載の食事代
6. 入場料: 日程表記載の入場料代

現地手配料金に含まれないもの:

1. 空港施設利用料[480 円]
2. 海外空港税諸税[9,160 円(変動制)]
3. 燃油特別付加運賃[41,000 円(変動制)]
4. 海外旅行保険料
5. 撮影料
6. 個人的費用

主催: NPO 法人国際芸術家センター

旅行手配: ソフィア株式会社

〒169-0072 東京都新宿区大久保 1-1-45

TEL:03-5292-7858 FAX:03-5272-6020

<http://www.sophia-net.com>

E-mail:satoru@sophia-net.com



「青の都」サマルカンド・世界遺産



ブハラ・世界遺産



ウズベキスタン絨

モデル・プランなので他の都市の追加・期間の延長も可能です

または、交通機関の時刻および遅延などの影響により変更される場合があります。

ウズベキスタンの世界遺産とフェルガナ盆地を訪ねて



国際芸術家センター(IAC)は60年以上、各国と文化交流を継続しています。そのIACならではのウズベキスタン文化視察の企画です。歴史をたどり、現地の人々と交流、そして伝統工芸の工房を訪ねるという盛りたくさんの内容です。スペイン製タルゴを利用した鉄道にもご期待ください。

【青の都】サマルカンド及びブハラ歴史地区の世界遺産を訪ね、フェルガナ盆地まで足を延ばします。フェルガナは、名馬の産出地として漢の武帝(紀元前2世紀)が西域に派遣した張騫が汗血馬＝一気に血の汗を滴りながら千里を駆け巡る名馬＝を伝えたことでも有名です。大宛国と聞き、ワクワクする方は相当の歴史好きですね。リシタン市の陶芸、マルギラン市の絹織物と伝統工芸品でも有名です。

リシタン市の【NORIKO学級】は知っていますか。コマツのエンジニアだった大崎重勝氏は、技術指導のために現地に派遣されていました。その大崎氏が退職金をもとに、妻の紀子さんと1999年に開いた日本語学校です。卒業生の日本語のレベルは高くコンテストでの受賞、もちろん、日本でも活躍しています。このNORIKO学級の学生たちとの交流会も予定しています。

【世界に広がる伝統工芸】ウズベキスタンの絹製品及びそのデザインは欧米各国のブランドファッションデザイナーに注目されています。今年2022年にはラルフローレンが採用しました。グッチ、オスター・デラレンタ等は2005年以降、コレクションとして発表しました。日本では職人による繊細なスザニ刺繍を着物愛好家が名古屋帯に仕立てて着用しているほどです。



ウズベキスタン絹



リシタンのセラミックス



スザニ刺繍



NORIKO学級 グル・アミル



シャヒ・ジッダー廟